

九州地区専門技術研修の実施報告

～第二種電気工事士技能試験対策講習コース～

○須恵耕二，有吉剛治，大嶋康敬，倉田大

寺村浩徳，松田樹也，山口倫

電気安全 WG

1 はじめに

技術部が本年度より始めた「九州地区専門技術研修」で、電気安全 WG は他大学における電気安全教育に寄与すべく「第二種電気工事士技能試験対策講習コース」をテーマとして募集したところ、長崎大学より 3 名の応募があり、平成 28 年 3 月に実施したので報告する。

2 第二種電気工事士技能試験対策講習コース

本講習コースは、電気安全 WG が毎年学生向けに実施している同講習を 3 日間通しで行うものであり、事前公表される技能試験問題 13 題の全てについて解説し、製作を実施した。

日 時	平成 28 年 3 月 15 日 (火) ～3 月 17 日 (木)
場 所	工学部研究棟 IV 3 階 技術部テクニカル・プラザ
内 容	(1) 副技術部長挨拶 (2) 筆記試験突破に向けた勉強法の概説 (3) 複線図の書き方 (4) 事前課題 13 題の製作
受講者	長崎大学大学院工学研究科 教育研究支援部 梶 聖悟 技術専門職員 是枝 弘行 技術職員 高嶋 恵佑 技術職員



図 1 開講式 (副技術部長代理の挨拶)



図 2 講習の様子

研修は、電気安全 WG 全員が講師として交代で指導した。また、初日夜には有志で交流会を開催し、技術職員同士での様々な考え方・仕事への姿勢等について意見を交わし、互いに刺激し合えた。

研修終了後には、副技術部長名で修了書を発行して貰った。(後日郵送)

3 まとめ

本コースは、平成 22 年度末に須恵・松田がスキルアップのために私費参加した「名古屋工業大学専門技術研修」を雛形としており、学んだスキルを積極的に活用し、必要とする他大学に伝承することで技術職員の業務対応力の向上に寄与するという流れの延長上にある。加えて、熊本大学での実例を基に電気安全教育を推進の必要性も伝えられるので、本コース受講者によって更にその先が生まれるものと期待している。

今後も申込みがあれば受け入れ、九州地区全体での電気安全の推進に微力ながら貢献していきたい。